

《受章者インタビュー》

先達に学ぶ額縁選びの“極意”

〈銀座明倫館〉中川先生は昭和35年に中川電機工業所を立ち上げ、都内の電気工事業務に精励される傍ら、東京都電気工事工業組合の理事長、全日本電気工事業工業組合連合会の理事・総合政策会議議長、(公社)全関東電気工事協会の会長ほか多くの業界団体の幹部・会長を歴任され、業界内外から厚い信望を得ていらっしゃいます。

去る平成27年春には旭日小綬章を受章され、その折銀座明倫館展示室にご来社を頂いたことがすばらしい縁の始まりでした。

〈中川先生〉私自身、協会内で叙勲を推薦する立場にいたことがありますので、まず額縁を注文することを考えました。銀座という場所は皇居にも近くて訪ねやすかったですね。



平成27年春 旭日小綬章
中川正則先生(東京都新宿区)

〈銀座明倫館〉銀座明倫館の特製本紫檀(P.40掲載)をお選びいただいた理由についてお聞かせください。

〈中川先生〉私にとって身に余る荣誉ですから、最高の敬意をもって飾ることにしました。最高の敬意とは、天皇陛下より頂いた勲章と勲記は、最高の額縁に納めたい、納めるべきという考えです。

父が漆職人だったこともあり、木製品の品質についてはよくわかります。銀座明倫館の展示室で特製本紫檀の額縁を見て、「頂いた勲章を納めるにふさわしい額だ」と思い、その場で決めました。

〈銀座明倫館〉予算面などで後々問題にはなりませんでしたが？

〈中川先生〉夫婦とも木に縁深い家系のように家内の身内に家具職人がおり、良い品だということは納得していたので大丈夫でした。もっとも特製本紫檀額だけは、たとえ予算に無理があっても絶対に妥協するつもりはありませんでしたね。

〈銀座明倫館〉祝賀会の席で勲記・勲章をお飾りになられた時はいかがでしたか？

〈中川先生〉春に受章して秋に祝賀会を行いましたので、製造に1ヶ月かかる額縁も余裕を持って飾ることができました。大勢の招待客の方々が額装された勲記・勲章の写真を撮っていらしたので、額縁も栄典にふさわしい特製本紫檀を選んで良かったと思いました。

旭日小綬章 勲記勲章



〈銀座明倫館〉勲記・勲章を納めた額縁は、どのようにお飾りですか？

〈中川先生〉ちょうど今自宅を改装していますので、ケヤキの頑丈な飾り棚を新たに作ってそこに飾る予定です。額縁だけでなく台の材料も木目の詰まった硬い木でないと、どうしても劣化による破損を考えなければいけません。また紫檀などの良質の材を使っているとしても、湿気の影響は脅威です。仕事上の経験ですが、工事のために家具を移動しようとしたら、仏壇がばらばらになってしまったことがあります。湿気で膠の接着結合が解けてしまっていたのです。木組みの段階でしっかりと結合しているちきり留めの額縁であれば、その点は安心ですね。

〈銀座明倫館〉先生にはそのほかに写真額もお求めいただきました。

〈中川先生〉応接室に集合写真と記念写真を飾っております。また、組合事務局にも歴代理事長の写真に並べて記念写真を飾りました。

近年では写真をいつでも手軽に印刷できますが、写真館で撮影した記念写真はプロの仕事らしく立派に仕上がってくるので飾られるのが良いと思います。仕事の関係で叙勲を受けられた方の場合、会社や組織団体でも会報誌や対外発表のために写真が必要になる場合がありますので、余裕を持って焼き増ししておくのも良いでしょう。

〈銀座明倫館〉“芳(かんばせ)を後世に流れる”そのお手伝いをさせて頂くことは、銀座明倫館の使命です。

〈中川先生〉今でも記念写真を見ると感動がよみがえる思いがします。記念写真を飾ることで、これから先もこの感動を伝えることが出来ると思います。

〈銀座明倫館〉先生は園遊会にも招かれたそうで、そのことでもなにかアドバイスを頂けますか？

〈中川先生〉現地までの移動が自家用車やハイヤーの場合と、タクシーを使った場合では、車寄せの場所が違うので歩く距離が変わってきます。また、園内をある程度歩くことになるので、整備されているとはいえ砂利道ですから、歩きやすい靴を選んだ方が良いでしょう。

又、お土産として頂けるお菓子を除き、園遊会記念土産のようなものは販売していませんので、別途手配する必要があります。

〈銀座明倫館〉その節には銀座明倫館の品を御用命いただきました。

〈中川先生〉皇室御用達の老舗のお菓子でしたら安心でしょう。お福分けとして塩瀬総本家さんの羊羹をお配りしました。

〈銀座明倫館〉これから受章される方へ、額選びに迷った場合のアドバイスをお願いいたします。

〈中川先生〉額縁の質感やサイズは、カタログだけで決めるのは難しい。出来る限り、一度実物を見て購入されることをおすすめします。参内の前後にでも、銀座の展示室に立ち寄られるのがいいでしょう。

実際に勲章を納めて掲げてみると、賞状に描かれているのと同じ月桂樹の勲章飾りが考え抜かれた配置になっている等、新たな発見があります。また、正式な菊御紋を配した額縁は他の叙勲会社では手に入らない。一生に一度の叙勲ですから、時間を掛けても納得できる選択をされるのがよろしいのではないのでしょうか。

〈銀座明倫館〉ありがとうございました。

身に余る栄誉ですから、
最高の敬意をもって飾りました。

